

技術室報第3報の発刊によせて

技術長 原 久之

技術室第3報は、技術室職員の平成25、26、27年度の活動記録と業務内容を内外に紹介することを目的として発刊することとなりました。

佐世保高専技術室は、平成21年4月に高専機構から職群として認められ現在に至っています。技術室は、室長（本校教授）、技術長、副技術長（2名）3名の各班長と班員の16名のスタッフで構成されています。技術職員の本来的な業務として次のようなものがあります。

1. 学生実験・実習・卒業研究等への支援。
2. 教育・教育用実験装置等の共同開発・製作・修理。
3. 学内教育施設の保守・管理。
4. 学内の教員研究活動支援、学外からの技術相談。
5. 各種製作依頼・ものづくりを通しての学内外への技術支援・技術指導。
6. 各学科・地域共同テクノセンターと連携した公開講座・一日体験入学・出前実験といった地域貢献活動への支援などがあげられますが、技術室職員のみで実施する出前実験も多数あります。

1. 実験・実習の支援においては、実験・実習開始時の安全教育の実施と実験・実習の事故・ケガ・急病などに迅速に対応できるよう「事故・ケガ等への対応フローチャート図」を各実験室・実習室に掲示し安全な授業・作業を目指しています。また、ロボコンの活動が組織化されたのを契機にロボコン部からの製作修理依頼、技術相談も年々増加し対応に時間をかけています。

高専の法人化と定数削減等により、技術職員の業務内容・業務量も年々増大し以前より職場環境も厳しくなりつつありますが、高専機構・大学等が主催する各種研修会に参加・発表することで個人のモチベーションを高めています。特に若手職員は積極的・優先的に各種研修会等へ参加・発表する機会を設けて自己のスキルアップに努めており、これに伴う予算申請も学内外へ毎年行うようにしています。技術室の業務・地域貢献活動には、教職員皆様との連携が必要不可欠です。これからも技術室の業務・活動に教員・事務職員のご理解、ご支援とご協力をよろしく申し上げます。